

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	予防課	危険物担当	内線等	99-213
----	------	-----	-------	-----	--------

事業コード		事務事業名	危険物施設の立入検査事業				
根拠法令等	消防法第4条・16条の5		A(法令)	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	危険物施設に対して
手段	施設の立入及び検査又は質問をすることによって
想定する成果	不備欠陥等を事前にチェックし災害の防止を図る

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
対象取扱所	144件	143件	143件
対象貯蔵所	361件	361件	361件
対象製造所	3件	3件	3件
立入施設件数	141件	94件	100件

目標値

成果指標名	立入検査実施率
成果指標の説明	施設件数 ÷ 立入検査対象物件数 × 100

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	19.7%
	実績	27.7%	18.5%	-
事業費	事業費	391,628	347,336	319,585
	人件費	7,714,800	6,268,500	6,372,750
	(人数)	0.9	0.75	0.75
	合計	8,106,428	6,615,836	6,692,335
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	8,106,428	6,615,836	6,692,335

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	全体的な立入施設件数は減少したが、査察時間がかかる屋外タンク貯蔵所の件数増加が達成できた。
効率性	6	6	事業内容が殆んど人件費なので改善の余地が少ない。
公共性	10	10	公共がやるべき仕事である。
緊急度	10	10	東海地震強化地域に指定されたので順次点検が必要である。
小計	32	32	
市民参加度			-
合計	32	32	
総合評価	B	B	施設によって立入検査時間に差があるため一概には件数の増加だけで評価できないが屋外タンクの件数が増加できた。

これまでに実施した改善点

達成度	給油取扱所の件数は減少したが屋外タンクの件数増が出来た
効率性	事業内容が殆んど人件費なので改善の余地がない
公共性	
緊急度	特に老朽化施設に重点を置いた
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	施設の規模により一件あたりの時間差があるのが効率よく実施する
効率性	他の用件で出向した時に立入検査を実施する
公共性	
緊急度	経過年数が多い施設を重点的に行う
市民参加度	